

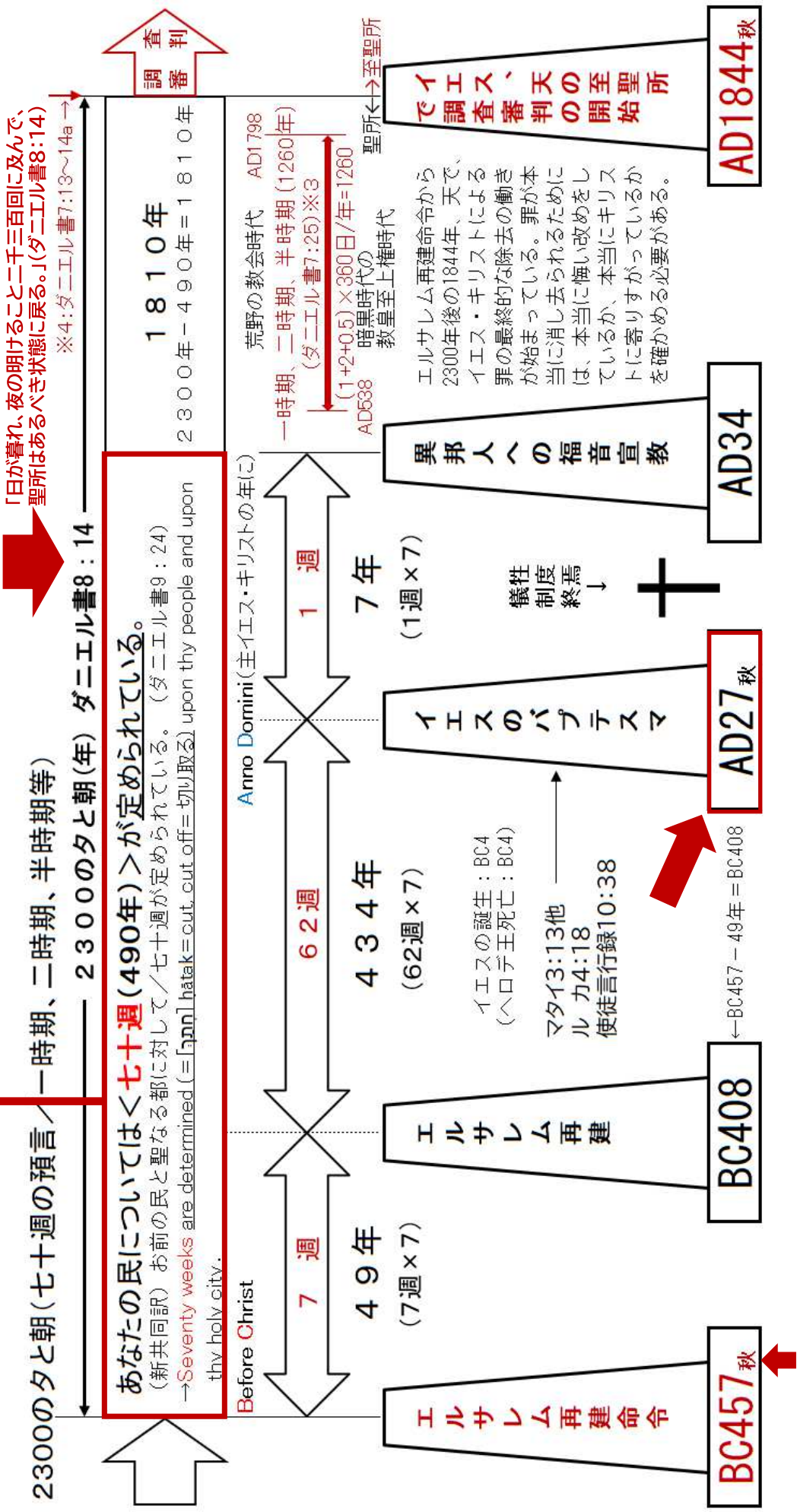
三十歳

三十歳は「成熟した大人」とみなされる年齢であり、社会的責任を果たす準備（公的・宗教的リーダーとしての成熟・任務の開始）ができ、公的な役割や指導的地位（祭司、王、預言者など）に就く年齢として適切だった。

創世記	41:46 ヨセフは、エジプトの王ファラオの前に立ったとき三十歳であつた。ヨセフはファラオの前をたつて、エジプト全国を巡回した。
民数記	4:3 それは臨在の幕屋で作業に従事することのできる三十歳以上五十歳以下の者である。 →4:23, 30, 35, 39, 43, 47
民数記	4:23 臨在の幕屋で務めに就き、作業に従事することのできる三十歳以上五十歳以下の者をすべて登録しなさい。
サムエル記下	5:4 ダビデは三十歳で王となり、四十年間王位にあった。
ルカによる福音書	3:23 イエスが宣教を始めたときはおよそ三十歳であつた。イエスはヨセフの子と思われていた。ヨセフはエリの子、それからさかのぼると、

Seventy weeks are determined (= 70 週 ハサツフ = cut off = 切り取る) upon thy people and upon thy holy city.

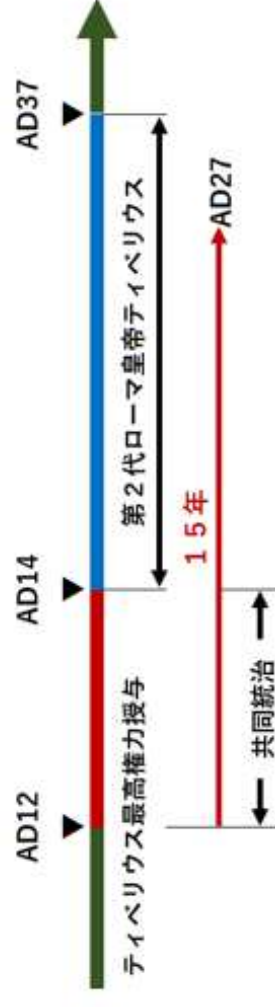
ヘブライ語



イエス・キリストのバプテスマ年＝AD27年

AD14年8月19日、**ローマ帝国初代皇帝アウグストゥス**（＝「尊厳ある者」という意味、オクタウィアヌス[当初の名前]に与えられた称号、在位：BC27年1月16日～AD14年8月19日、75歳没）が死去し、ティベリウス（→クラウディウス氏族の出身で、母リウシアがアウグストゥスと再婚したことで、のちにアウグストゥスの養子となり[AD4年]、ティベリウス・ユリウス・カエサルと名乗る）は第2代ローマ皇帝として即位（在位：AD14年9月17/18日～AD37年3月16日）した。

ティベリウスは、AD12年に、元老院（ローマ帝国最高統治機関）よりアウグストゥス帝と並んで最高権力（imperium maius と tribunicia potestas）を授与されている。これにより、彼は実質的にアウグストゥスと共同統治者としての地位を得、混乱なく皇帝の座を引き継いだ。



ルカによる福音書3：1 **皇帝ティベリウス（Tiberius Julius Caesar）の治世の第十五年（→AD27年＝12年＋15年）**、ポンティオ・ピラトがユダヤの総督、ヘロデがガリラヤの領主、その兄弟フィリポがイトラヤとトラコン地方の領主、リサニアがアビレネの領主、・・・21 民衆が皆洗礼を受け、**イエスも洗礼を受けて祈っておられると**、天が開け、22 聖霊が鳩のように目に見える姿でイエスの上に降って来た。すると、「あなたはわたしの愛する子、わたしの心に適う者」という声が、天から聞こえた。

